

中小企業景況情報

平成22年 4月～6月期実績
平成22年 7月～9月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況

平成22年4月～6月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供ならびに商工会が行なう経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

〔 調 査 基 準 〕

1. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問調査
2. 調査時点 平成22年6月1日
3. 調査対象期間 平成22年4～6月期実績および平成22年7～9月期予想
4. 回答企業内訳および回答率

業 種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製 造 業	32	32	100.0	朝日町・入善町
建 設 業	26	23	88.4	宇奈月町・上市町
小 売 業	37	37	100.0	富山市南・富山市北
サービス業	55	54	98.1	高岡市・小矢部市
合 計	150	146	97.3	南砺市・庄川町

(注) 1. 本調査でのD・Iとはデフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合と減少(低下、悪化)企業割合の差を示すものである。

産 業 全 体

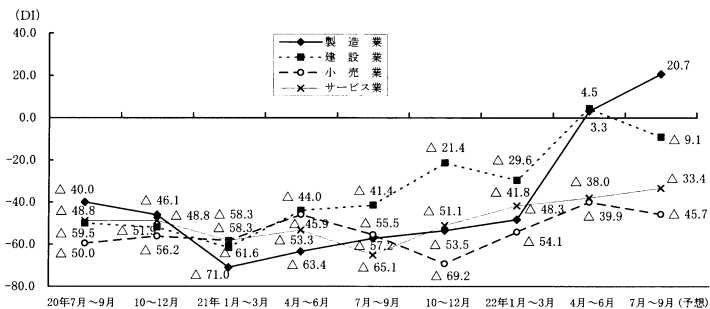
- ・業況判断(DI)は、前回調査比(3月)13.8ポイント好転し△24.9となった。
- ・来期は3.2ポイント減少の△28.1を予想している。
- ・売上額は前回調査比13.2ポイント好転し△25.6となった。また来期は△25.2と横這いを予想している。
- ・採算は前回調査比7.3ポイント好転し△32.4となった。また、来期は△31.5と横這いを予想している。
- ・資金繰りは前回調査比2.3ポイント好転し△21.6となった。また、来期は△23.7と横這いを予想している。

1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、全ての業種で好転した〕

今期は、前期より製造業 3.3（+51.6 ポイント）、建設業 4.5（+34.1 ポイント）、小売業△39.9（+14.2 ポイント）、サービス業△38.0（+3.8 ポイント）と好転した。

来期は、製造業△20.7（+17.4 ポイント）、サービス業△33.4（+4.6 ポイント）で好転、建設業△9.1（-13.6 ポイント）、小売業△45.7（-5.8 ポイント）と悪化を予想している。

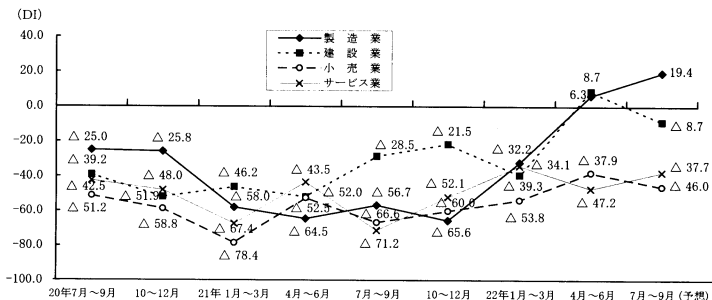


2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・建設業・小売業は好転、サービス業は悪化した〕

今期は、前期より製造業 6.3（+38.5 ポイント）、建設業 8.7（+48.0）、小売業△37.9（+15.9 ポイント）好転、サービス業△47.2（-13.1 ポイント）と悪化した。

来期は、製造業 19.4（+13.1 ポイント）、サービス業△37.7（+9.5 ポイント）で好転、小売業△46.0（-8.1 ポイント）、建設業△8.7（-17.4 ポイント）と悪化を予想している。

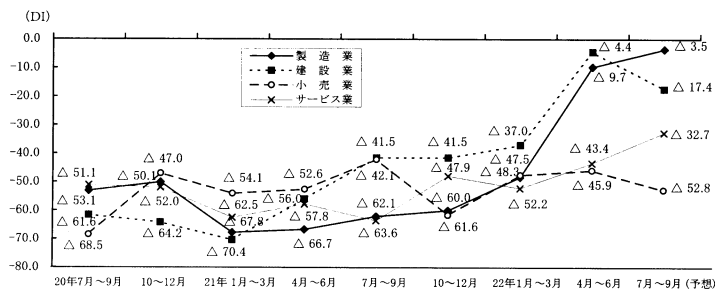


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、全ての業種で好転した〕

今期は、前期より製造業 $\Delta 9.7$ （+38.6ポイント）、建設業 $\Delta 4.4$ （+32.6ポイント）、小売業 $\Delta 45.9$ （+1.6ポイント）、サービス業 $\Delta 43.4$ （+8.8ポイント）と好転した。

来期は、製造業 $\Delta 3.5$ （+6.2ポイント）、サービス業 $\Delta 32.7$ （+10.7ポイント）と好転、建設業 $\Delta 17.4$ （-13.0ポイント）、小売業 $\Delta 52.8$ （-6.9ポイント）と悪化を予想している。

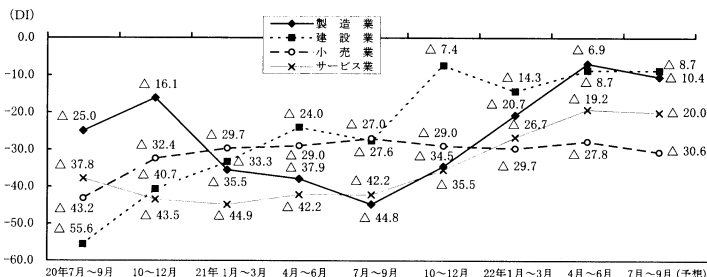


4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、全ての業種で好転した〕

今期は、前期より製造業 $\Delta 6.9$ （+13.8ポイント）、建設業 $\Delta 8.7$ （+5.6ポイント）、小売業 $\Delta 27.8$ （+1.9ポイント）、サービス業 $\Delta 19.2$ （+7.5ポイント）と好転した。

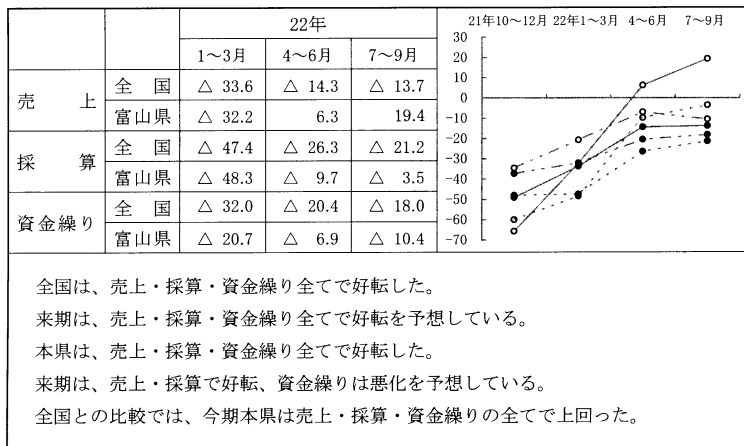
来期は、製造業 $\Delta 10.4$ （-3.5ポイント）と悪化を予想、建設業 $\Delta 8.7$ 、小売業 $\Delta 30.6$ （-0.9ポイント）、サービス業 $\Delta 20.0$ （-0.8ポイント）と横這いを予想している。



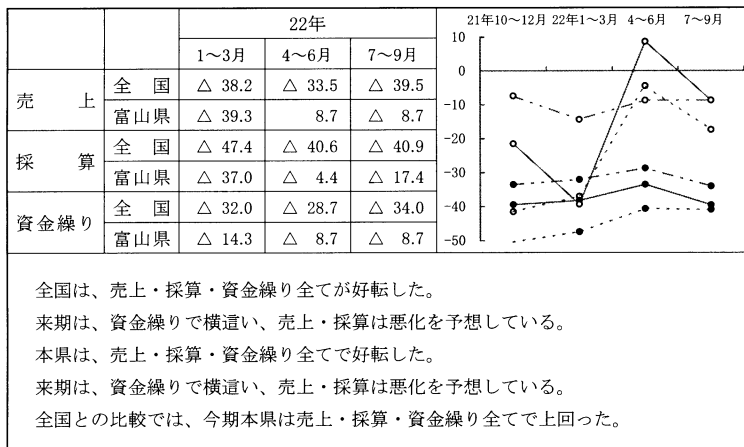
D I 値による全国動向との対比

全国	—●— 売上	- - -●- - - 採算	- - -○- - - 資金繰り
富山県	—○— 売上	- - -○- - - 採算	- - -○- - - 資金繰り

製 造 業 (前年同期比D・I)



建 設 業 (前年同期比D・I)



全国	●	○	●	○	●	○	●	○
富山県	○	●	○	●	○	●	○	●

小 売 業 (前年同期比D・I)

		22年			21年10~12月	22年1~3月	4~6月	7~9月
		1~3月	4~6月	7~9月				
売 上	全 国	△ 54.3	△ 48.1	△ 49.1				
	富山県	△ 53.8	△ 37.9	△ 46.0				
採 算	全 国	△ 50.9	△ 47.3	△ 45.7				
	富山県	△ 47.5	△ 45.9	△ 52.8				
資金繰り	全 国	△ 36.2	△ 33.6	△ 36.5				
	富山県	△ 29.7	△ 27.8	△ 30.6				

全国は、売上・採算・資金繰り全てで好転した。

来期は、採算で好転、売上・資金繰りで悪化を予想している。

本県は、売上・採算・資金繰り全てで好転した。

来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。

全国との比較では、今期本県は、売上・採算・資金繰りの全てで上回った。

サ ー ビ ス 業 (前年同期比D・I)

		22年			21年10~12月	22年1~3月	4~6月	7~9月
		1~3月	4~6月	7~9月				
売 上	全 国	△ 47.7	△ 40.8	△ 36.0				
	富山県	△ 34.1	△ 47.2	△ 37.7				
採 算	全 国	△ 46.6	△ 40.8	△ 36.0				
	富山県	△ 52.2	△ 45.9	△ 52.8				
資金繰り	全 国	△ 34.0	△ 28.5	△ 27.8				
	富山県	△ 26.7	△ 19.2	△ 20.0				

全国では、売上・採算・資金繰り全てで好転した。

来期は、売上・採算・資金繰り全てで好転を予想している。

本県は、採算・資金繰りで好転、売上は悪化した。

来期は、売上で好転、採算・資金繰りで悪化を予想している。

全国との比較では、今期本県は、資金繰りで上回り、売上・採算で下回った。

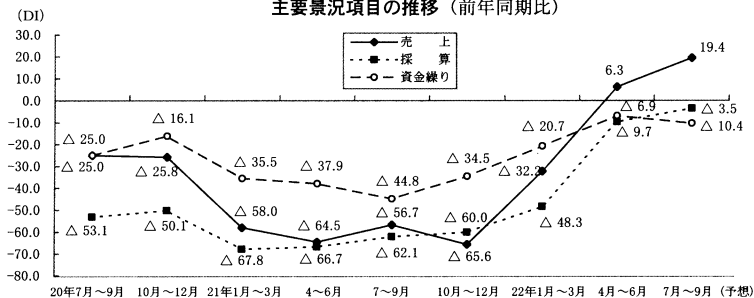
製 造 業

1. 主要景況項目の動向

業況D Iは前回調査比51.6ポイント上昇し3.3となり、売上は38.5ポイント、採算は38.6ポイント、資金繰りは13.8ポイント上昇した。

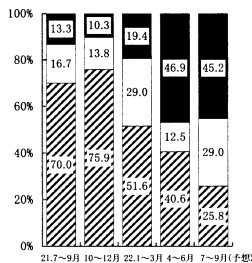
来期は、売上・採算で好転、資金繰りで悪化を予想している。

主要景況項目の推移（前年同期比）

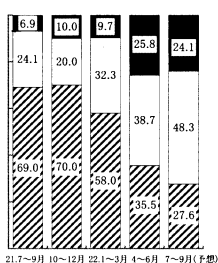


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

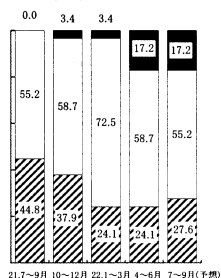
売上額の状況



採算の状況

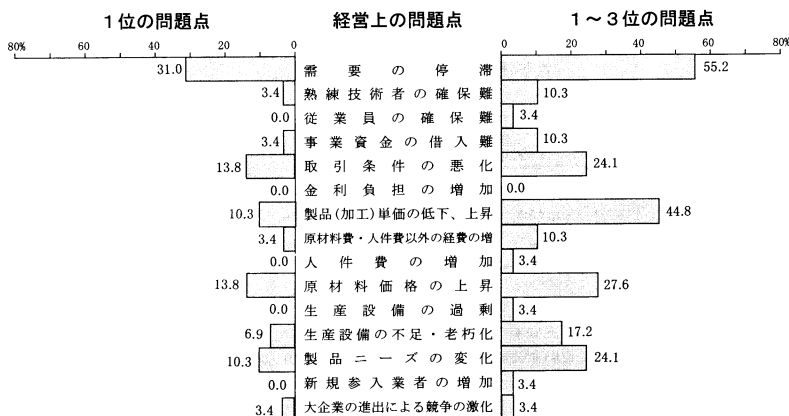


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(31.0%) ②「取引条件の悪化」(13.8%) ③「原材料価格の上昇」(13.8%)。これを1位～3位までの合計でみると、①「需要の停滞」(55.2%) ②「製品(加工)単価の低下・上昇難」(44.8%) ③「原材料価格の上昇」(27.6%)の順となった。「需要の停滞」が上位に定着してきている。

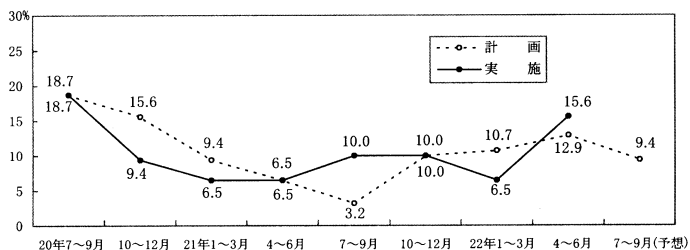


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比9.1ポイント上昇し15.6%となった。投資内容は生産設備、車両運搬具となっている。

来期計画は、3.5ポイント減少し9.4%となっている。投資内容は生産設備、OA機器となっている。

設備投資計画及び実施状況

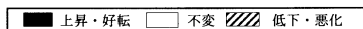
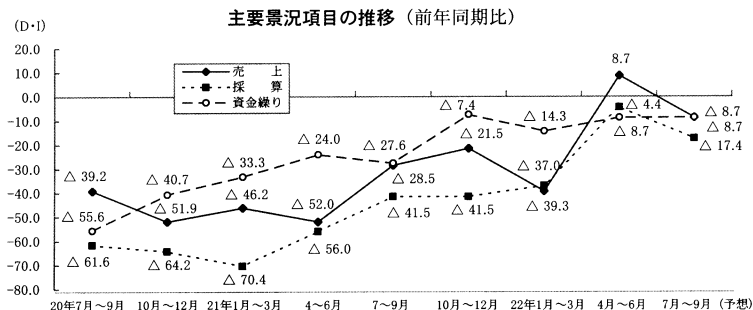


建設業

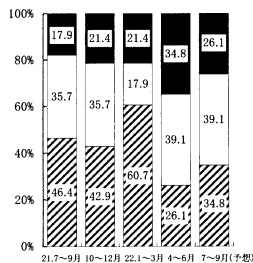
1. 主要景況項目の動向

業況D Iは前回調査比34.1ポイント上昇し4.5、売上は48.0ポイント、採算は32.6ポイント、資金繰りは5.6ポイント上昇した。

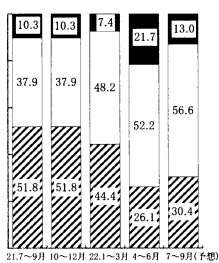
来期は、資金繰りで横這い、売上・採算は悪化を予想している。



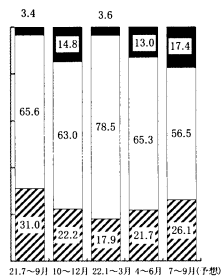
売上額の状況



採算の状況

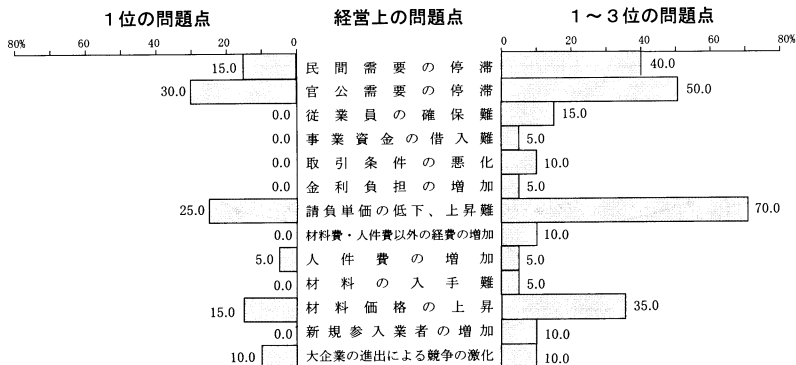


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「官公需要の停滞」(30.0%) ②「請負単価の低下、上昇難」(25.0%) ③「民間需要の停滞」(15.0%)となった。これを1位～3位までの合計でみると、①「請負単価の低下・上昇難」(70.0%) ②「官公需要の停滞」(50.0%) ③「民間需要の停滞」(40.0%)の順となった。「請負単価の低下、上昇難」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」が上位に定着してきている。

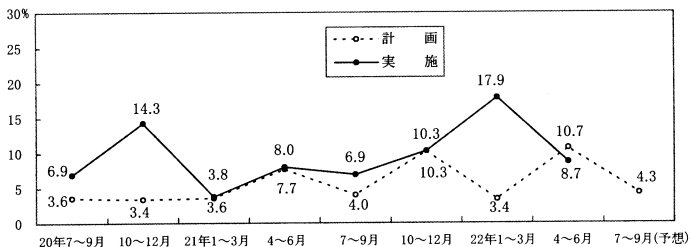


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 9.2 ポイント減少し 8.7%となった。投資内容は車両運搬具となっている。

来期計画は、6.4 ポイント減少し 4.3%となっている。投資内容は車両・運搬具となっている。

設備投資計画及び実施状況

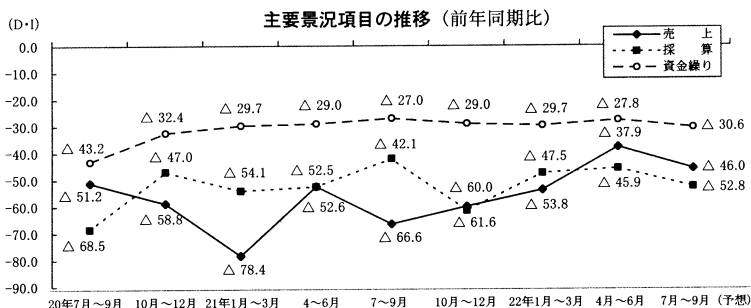


小 売 業

1. 主要景況項目の動向

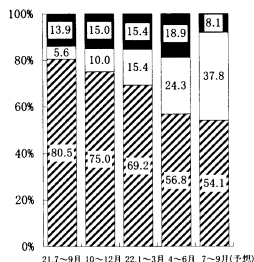
業況D I は前回調査比 14.2 ポイント上昇し△39.9、売上は 15.9 ポイント、採算は 1.6 ポイント、資金繰りは 1.9 ポイント上昇した。

来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。

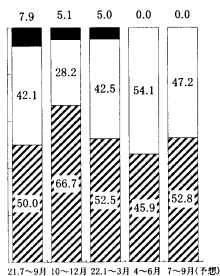


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

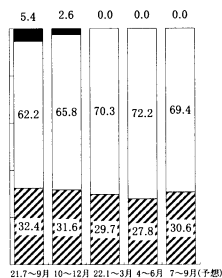
売上額の状況



採算の状況

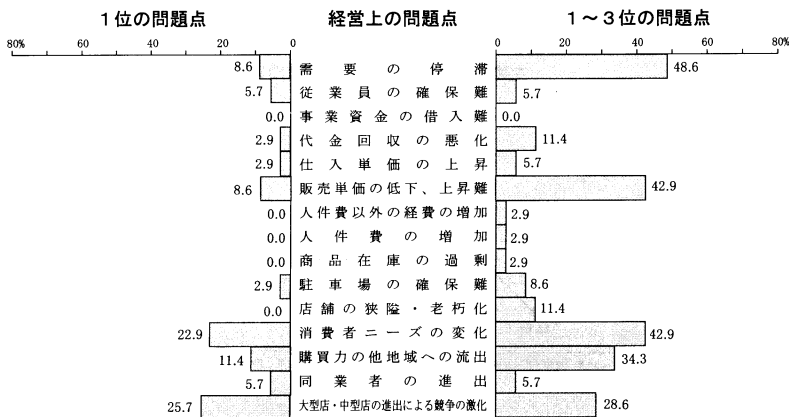


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「大型・中型店進出による競争の激化」(25.7%) ②「消費者ニーズの変化」(22.9%) ③「購買力他地域への流出」(11.4%) となった。これを1位～3位までの合計でみると、①「需要の停滞」(48.6%) ②「消費者ニーズの変化」、「販売単価の低下、上昇難」(42.9%)の順となった。「需要の停滞」は上位に定着してきている。

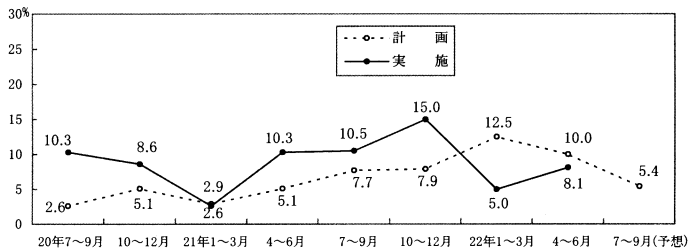


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 3.1 ポイント上昇し 8.1%となった。投資内容は、車両・運搬具・店舗となっている。

来期計画は、4.6 ポイント減少し 5.4%となっている。投資内容は車両・運搬具、店舗となっている。

設備投資計画及び実施状況



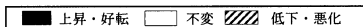
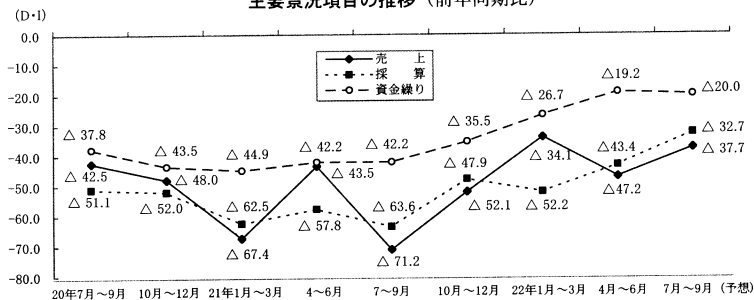
サービス業

1. 主要景況項目の動向

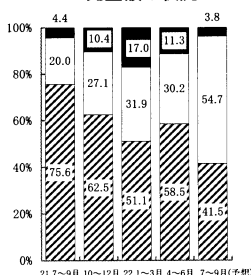
業況D Iは前回調査比3.8ポイント上昇△38.0、売上は13.1ポイント減少、採算は8.8ポイント上昇、資金繰りは7.5ポイント上昇した。

来期は、売上・採算で好転、資金繰りは横這いを予想している。

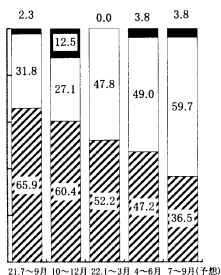
主要景況項目の推移（前年同期比）



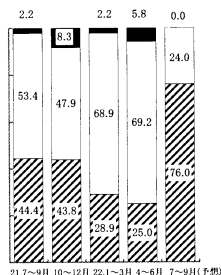
売上額の状況



採算の状況

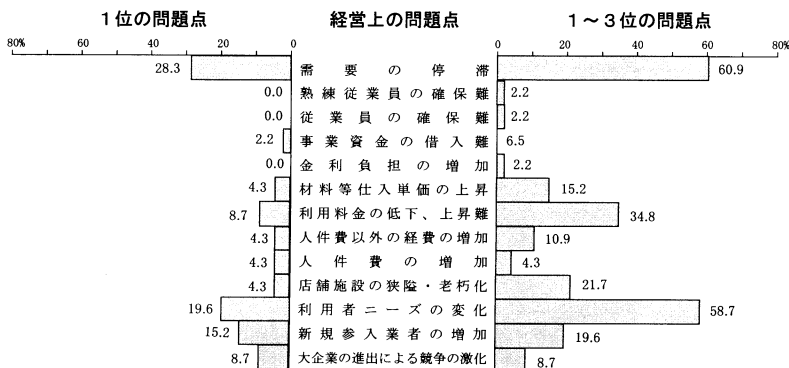


資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(28.3%) ②「利用者ニーズの変化」(19.6%) ③「新規参入者の増加」(15.2%) となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(60.9%) ②「利用者ニーズの変化」(58.7%) ③「利用料金の低下、上昇難」(34.8%) の順となった。「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が每期上位に定着してきている。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、12.7ポイント上昇し17.0%となった。設備内容は、車両・運搬具、OA機器となっている。

来期計画は、0.9ポイント上昇し9.4%となっている。投資内容は、付帯設備、OA機器となっている。

設備投資計画及び実施状況

